

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

コンピュータの基盤環境における日本の標準化を目指し、製品を持たない中立性を貫く。
責任ある自由の共存のもと、社会と顧客に貢献する

② 中長期の経営戦略

1. ITASサービスの標準化

主力サービスの提供内容を標準化し、一部自動化により業務効率と新規契約獲得を実現。フランチャイズ・代理店展開の基礎を構築

2. 人材育成体制の強化

レイヤー毎の育成メソッドを開始し、長期的な人材採用～育成を実施。中期的競争力の向上を図る

3. 新技術への対応

高速ワイアレス通信やモバイルデバイス融合など新技術の事業化を予測し、IT分野の展望予測を重視してビジネスモデルを強化

4. アウトソースサービス拡大

利用技術と中立性の重要性が増す中、認知度向上と営業力強化により多くの顧客にサービス提供拡大

③ 対処すべき課題

① 主力サービスの標準化・パターン化

- ・ ITASサービスの主要項目を標準化し業務効率化を実現
- ・ 人手依存の業務一部自動化でサービスレベル向上
- ・ 特定契約依存度の平準化と新規顧客獲得の促進

② 人材育成と多様性への対応

- ・ レイヤー毎の育成メソッド導入による人材強化
- ・ 社員の多様な価値観への対応
- ・ 就業不能時の損失補償施策の実施

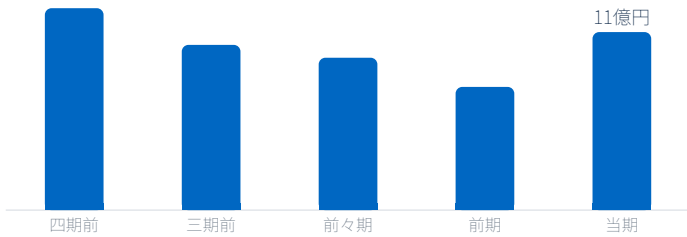
③ コンプライアンスとCSR

- ・ 会計監査・業務監査強化による社会的公正性の追求
- ・ 企業の社会的責任（CSR）へのコミット

面接で使えるポイント

- ・ 製品を持たない中立性を貫きながら、IT業界でメーカーに肩入れしない立場を保つ営業戦略に着眼
- ・ ITASサービスの標準化と自動化による業務効率向上で、スケーラブルなビジネスモデル構築を目指す姿勢
- ・ 高速ワイアレス通信や燃料電池などの新技術がビジネス分野に適用される数年以内に対応する先読み経営

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
25点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 41.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

